

次へつながる学力調査

平成 30 年度 6 年『全国学力・学習状況調査』

4月に実施した全国学力学習調査結果をお知らせします。全てにおいて、広島県平均と全国平均を上回っていました。全科目、無解答の児童が0%、国語科ではA問題（基礎的な問題）で30%未満の通過率（得点率）が0人でした。特に国語科では、字数制限で文章を書くことやN I Eタイムで子ども新聞の発展問題への応募に取り組んでいることも成果につながりました。算数科では図形を把握する力がついていました。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
海田西小	80	65	67	60	69
広島県	73	59	66	54	63
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

一方で
課題もみえてきました

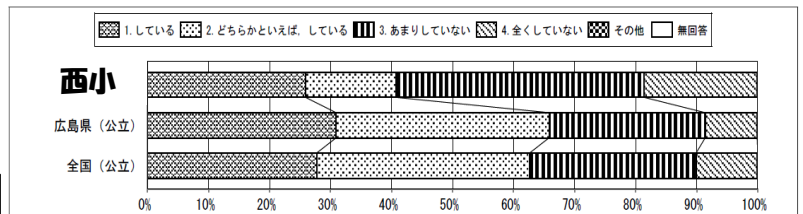
- 国語** 文の中における主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くこと。目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして詳しく書くこと。
- 算数** 百分率を求めること。割合を正しく求めること。グラフの特徴を基に、複数の観点で考察したり表現したりすることができること。
- 理科** 実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。物の溶け方の規則性を自然の事物・現象に適用すること。

これらの課題は、1年生からの積み上げが大切になってきます。西小では、全校で次のような取組を行っていきます。

- 国語** **主述を一致させて書く 条件に合った文章を書く**
文末表現の違い（～である。～だろう。～でしょう。等）による意味の違いを理解させ、短文作りや主述を一致させて書かせます。毎時間音読を取り入れたり、意味調べを行って語彙力を増やしたりし、まずは速読力をつけていきます。また、必要な情報だけを取り出し、条件に合った文章を書かせます。
- 算数** **図に表して考える 比べて説明する**
問題場面を図に表したり、式の意味を説明したりさせます。複数のグラフや表を比べたり根拠を明確にしたりして事象を説明させます。
- 理科** **根拠や理由を説明する 絵や図を使ってまとめる**
観察・実験を通して得た知識を活用する場面を設け、根拠や理由を説明させます。また、実際に現場を見たり、VTR等を視聴したりすることで具体的にイメージさせながら、絵や図を使ってまとめさせます。

児童質問紙から「家庭学習」の
課題もみえてきました。

「家で、学校の授業の予習・復習をしています。」と肯定的に回答した人数は40.7%で県平均や、国平均より低かったです。「家で、学校の宿題をしています」と100%の児童が答えているので、自主的な学習において課題があると考えます。



今後は？

家での自主的な学習の必要性や自主学習の仕方、自主学習ノートの書き方について指導していきます。取り組み方の良い例として、児童の自主学習ノートを掲示します。 **4・5・6年を中心に取り組みます。**